

# ～明日から医療面接が楽しくなる～ 動機づけ面接のすすめ

動機づけ面接 (motivational interviewing, MI) とは、アルコール依存症患者への面接において、良い結果が得られた治療者の面談スタイルを実証的に解析することで、依存症の治療法として開発されました。現在は行動変容が必要な様々な医療面接で使用されています。

クライアントの中にある矛盾した欲求 (例えば禁煙したい一方で吸い続けたい) に注目し、クライアントが矛盾を解消できるよう援助します。それにより、クライアントの中から動機を呼び覚まし、自ら行動を変えることを支援します。怒りなどの負の感情や変化に無関心な人にも有用性が示されており、短時間で実施できることも魅力です。シンプルな方法論と豊富な練習方法が確立されており、繰り返し学ぶことで誰もが習得可能です。ぜひご参加ください。

講師 日本動機づけ面接協会・医師

磯村 毅 氏

2019年

11月22日(金) 19時～21時

会場 熊本県立劇場 大会議室

参加費無料

医療スタッフの方々のご参加もお待ちしております



## 講師経歴 (いそむら たけし 氏)

名古屋大学医学部、同大学院卒後、テキサス大学研究員としてがんと老化の遺伝子研究に従事。研究は頓挫し、失意のうちに帰国。名鉄病院にて呼吸器科医として再スタートをきる。そこで出会った村手部長の指導のもと、禁煙支援に取り組み、子どものための禁煙外来を開設した。河合塾との「禁煙で合格率アップ」の取り組みを通じ、「リセット禁煙」を開発。現在はトヨタ記念病院禁煙外来、トヨタ自動車産業医などを兼務する傍ら、予防医療研究所代表。専門は依存症心理学および動機づけ面接。藤田医科大学客員教授。日本動機づけ面接学会代表理事。ゆるーい思春期ネットワーク代表。

NHKためしてガッテンへの出演の他、「二重洗脳-依存症の謎を解く」、「新依存症のカラクリ」、「リセット禁煙のすすめ」、「親子で読むケータイ依存脱出法」、「失敗しない動機づけ面接」など著書多数。2014年、京都大学精神科村井俊哉教授、ハーバード大学精神科 Dr. J. Suzuki と依存症の新理論「失楽園仮説」を発表。最近では、刈谷病院アルコール病棟でのグループ動機づけ面接治療や、名古屋保護観察所での引受人(薬物依存症者の家族)会のファシリテーター、矯正施設、児童養護施設の職員を対象とした研修会や犯罪心理学学会での講演など、面接困難者・依存症関連領域での仕事が増えている。

参加申込みをFAX(096-385-6448)またはメール(kumamoto-hok@doc-net.or.jp)でお願いします

医療機関名

参加者氏名

職種

(電話番号)

参加者氏名

職種

※3名以上で参加をお申し込みの場合は別紙に記載してファックスをいただくか、メールでお申し込み下さい。

## 無料託児所のご案内

熊本市医師会館内の保育施設「メディッククラブ」が、熊本県女性医師キャリア支援センター事業の一環として無料で利用できます(女性医師のみ)。ご希望の方は、事前にTEL(096)223-5162(メディッククラブ予約受付)へご予約をお願いします(ご予約の締め切りは11月19日(火)の午後2時です)。